

# サル新開

発行日 2015年9月6日  
 発行者 幸田 伶奈



私は、京都大学れい長類研究所を見学しました。そこは、れい長類のことをくわしく研究しているところです。わごと森林にまねて作っています。たとえば、ロープは、植物のつるで、高い柱は木です。こうして野生のチンパンジーにちかいくらしができるように工夫されています。



京都大学れい長類研究所のチンパンジー



とても高いところにいるチンパンジー。ちがってこわそう

チンパンジーが問題をきいているえいぞうを見ました。その問題というのは、が面にいっしゅんででる数字をおぼえて、その数字を小さい順にタッチすることでした。チンパンジーは、少しまちがえる時もある、たけれど、正しい時の方が多かったです。このことから、チンパンジーは、人間よりとくいな事がある事をが分かりました。

このような研究で有名な松沢先生も顔を出して



松沢先生

くれました。たくきんの研究室があり、そして大きなチンパンジーのしぐさを見せてあげて、すごいなと思いました。

日本モンキーセンターに行きました。知らないサルが、たくきんいました。そんな中、私たちは、エンリッチメント体験をしました。サルたちに、自分で食べ物をかかしてもらうために、わごとえさをかくしたり見つけにくくしました。その結果、エンリッチメント体験で作った物を、チンパンジーにあたえたら、えさを見つけ出して、食べました。



ロープにぶらさがってえさをもらう

ジェフロクモサル

チンパンジー以外にも、たくきんのサルがいました。感想



しっぽのシマシマ(輪尾)が特徴のワオキツネサル

チンパンジーは人間よりとくいなこと、にがちなこと、があります。人間にはできないこと、チンパンジーにできること、もあるという事を知りました。



消防用ホースにえさをいれて紙でくるむようす



上手にえさを取り出して食べるチンパンジー



リスのように小さいボリビアリスサル



手と足の甲の毛が白いところ、特徴のシロテテナガサル